

下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和5年3月1日 第32号
奈良県下市町教育委員会
教育長 小谷 隆男 発行

ついに完成！ 地元ご協力に感謝 ～「下市あきつ学園」新校舎～



令和3年7月から、**およそ1年8ヶ月**かかりましたが、ようやく義務教育学校「下市あきつ学園」の校舎が完成いたしました。これまでご協力いただきました皆様に心より感謝いたします。

たくさんの皆様に見ていただくために、内覧会の日を設定しています。4月に学校が始まると子どもたちが登校して、見ていただきにくくなりますので、この機会にぜひご覧ください。

新校舎の内覧会へのご案内

午後の部はどなたでも入場していただけます。お越しください。お待ちしております。

<令和5年3月25日(土)>

- ・午前10:00～10:30 竣工式(来賓)
- ・午前10:30～12:00 内覧会(来賓)
- ・午後 1:00～ 5:00 内覧会(一般)

さて、この校舎で新しい教育が始まっていきます。下市あきつ学園では、子どもが主体的に学び、本当の意味での生きる力をつけることができるような**魅力ある教育活動を展開**します。まずは授業改革。「教えないスキル」を活用し、**ICTを使った先進的な授業**を、先生方には期待します。この校舎で9年間過ごした子どもたちが、未来へと大きくはばたけるように。そして、ふるさと下市を大切に思えるように。**学校、家庭、地域、行政、みんなの力でいい学校**にしていきたいと思います。

町の教育は <教育評価支援委員会>

▼令和4年度、町の教育活動はどうだったのか、「**教育大綱**」に基づいて**検証**していただきました。委員は前教育長の藤田謙治氏と正福寺住職の徳岡見英氏の2名です。▼学校の教育活動や下市あきつ学園のこと、ICT機器を活用した授業や「下市学」のこと、文化財活用のことなど、多くのご意見をいただきました。▼検証結果については**議会に提出し、詳細は今月中にHPで掲載**します。教育は百年の計。引き続き向上を目指します。



「ますだおかだ」の岡田さんが！

▼2月17日(金)に、BSのテレビ番組の撮影が下市小にやってきました。地域の魅力を伝える番組で、**お笑い芸人岡田圭右さんが学校**に来ました。岡田さんは英語が得意だそうで、6年生の英語の授業に入りました。▼サプライズだったので教室内は驚きと爆笑の渦でした。実際の岡田さんもテレビと同じで、優しく楽しいお兄さんでした。放送予定は下の通り。ぜひご覧ください。



BSJapanext
263ch 全国放送
3月22日(水)
19:58～ 放送予定

詳しい情報は専用アプリから！



Topic news

下市パワーの源流 ～初市復活～

▼2月12日(日)3年ぶりの初市は、春が来たかのような晴天で、**2万人超の人出**だったそうです。さすが吉野郡最大と言われる縁日、えびす様の前も大行列でした。▼「よさこい」の演舞や、80近い露店も並びました。昔は「すあめ」、今は「10円パン」。時は流れても、**初市は下市パワーの源流**だと感じる日でした。



ライブやる? ～町内のアマバンド～

▼役場と教委の若者(?)が自費で観文センターを借りて、**町民に向けてライブ**をします。町内に活気が出ればとの思いです。▼芸能発表大会がきっかけでスタート。初心者もがんばってます。この輪が広がっていけば楽しいですね。



○3月18日(土)14:00～
○観文センター大ホール
○もちろん入場無料

教委BAND
K'sKバンド
役場BAND ほか

町の宝を守る ～文化財防火週間～

▼毎年1月26日は「文化財防火デー」。これは昭和24年のこの日、**法隆寺金堂(国宝)が火災に遭った教訓**から設定されています。▼今年の下市は願行寺と専念寺の防火点検を2月8日に実施し、消防署員、文化財保護委員長に同行していただきました。▼**願行寺の本堂や鐘楼、専念寺の阿弥陀如来坐像など**、大切な文化財を失うわけにはいきません。



テレビ映った! ～こども園～

▼2月14日の奈良テレビの番組「ゆうドキッ」で、**下市こども園の特集が放送**されました。先生や園児がインタビューに答えていて、明るい園の様子がよくわかりました。今月中はネット(「県教委まなびだより」を検索)でも見られます。【<http://www.e-net.nara.jp/kenkyo/index.cfm/27,1714,75,html>】3月31日まで。



「菊田コレクション」⑫ つるべ鮫「弥助」 義経千本桜

日本人は昔から「源氏と平家」の物語が大好きです。鎌倉時代(約800年前)に、「平家物語」が琵琶法師らによって全国に広められ、やがて人形浄瑠璃へと発展していきました。

その後、1747年11月に大阪で**竹田出雲**らが**人形浄瑠璃「義経千本桜」**を上演し、絶大な人気を博します。その三段目「すし屋の段」の舞台となったのが下市のすし屋でした。源氏から落ちのびていく平維盛が「弥助」と名前を変え、このすし屋に匿われます。それをかばって嘘をついた「権太」が命を落とすという悲運の物語です。出雲らが作ったフィクションだと思いますが、全国的に大人気になり、江戸・明治期につるべ鮫「弥助」は大流行でした。権太の墓なども作られました。

下市のすし屋は文治年間(1185年～89年)頃に始まったとされ、平維盛が生きていた時代から本当にあったということです。下市TV「下市の昔探訪」に菊田氏のお話が収録されています。(終)



▼3月は別れの月。どことなく寂しさが漂っています。でもそれは、4月の新しい出会いを前に、いつの間にか消えてなくなります。毎年その繰り返しです。▼廃校になる校舎、二度と着ない制服、重い鞆、通学路、友人たち…まだ捨て去りたくない多くの記憶。それでも、区切りをつけて前に進みます。晴れ晴れしい未来への入口がすぐそこに待っているのですから。

ご意見・お問い合わせは…

下市町教育委員会事務局

☎ 0747-52-1711

FAX 0747-52-5159

✉ kyoit@town.shimoichi.nara.jp